

ドイツへの留学を通して、音楽家としての活動を行い、
いずれはドイツのオーケストラで演奏できるようになりたい。
——そう思うようになったそうである。

「そ」→ ドイツのオーケストラに入るためにはどうすれば「良いか」と重々始めます！
まづ、ドイツのオーケストラにはアカデミー、というシステムがあることが判明

☆ドイツマ"オーケストラ団員になるための道のり

→ アカデ"ミー (最大2年、26~27歳までの年齢制限あり)

↓ オーケストラのオーディションを受ける資格がもらえる

→ オーケストラからオーディションお招待の招待状を貰う

↓ オーディション

オーディション

アカデ"ミーとは

言わば石研1年生やインター
のよくなるもの(各々がアカデ"ミーを持っている)
← アカデ"ミーの経歴がないと
正団員のオーディションを受けられない!

まづは アカデ"ミーに入らなま

コロナ禍でアカデ"ミーの募集が
募集が無い状態が続いてしま

いろいろなところに

年齢のこ

攻略法がわかれば

正規雇用の国員になれる

まずは経験が大事!
とアカデミーに入ってから月日、
最初に招待状をくれた
『ドレスデン国立歌劇場管弦楽団』
のオーディションを受けてみることに
「ダメ元! ひとまずは経験だ!」
というお試しの気持ちだったそう

ドイツの中でモ
ーツァークラスの
オペストラ

ドレスデン)に入学!

どんどん
挑戦を
しなきゃ
あー
がんばるぞい

その中ぞ

ベルリン放送交響楽団のアカデミーの
ポジションを得る事ができました

10個、いや、
4-04個くらい
オーディションを
受けることも
普通だよ

とにかく
簡単な
道ではない

とくに外国人がドイツの
正規雇用のポジションを
得るのは大変かもじゃない

先輩たちからきいていた話

オペラ座でのオペストラ奏者の仕事量というのは想像以上

日暮になるって！オゴすまま...!!
 (リン) 電車で2時間くらい
 (レスデン) の2拠点生活。
 で気のめけない日々でした。
 来てなかったオペラの演奏。
 の変化と初めの頃は本番で
 ことが出来ず自分を責めたことも。

ドイツには行くごとにオペラ座があり、
 毎晩どこかでオペラが行われていると言います。
 人々の生活の中にオペラが根付いているんですね。

でも、その中でもオペラは強くて、
 新しい世界に触れられたこと、大きな
 刺激となりました。歌はドイツ語、
 イタリア語、フランス語 など多様な言語
 で歌われるので、それぞれがアクセントの置き
 方やフレーズングの作り方を通じて、音楽と
 言語が強く結びついていて、とても実感し
 ました。こうした気持ちは他の言語を演奏
 する際にも、その作曲家がどのような
 語法で「音楽と語る」のかを認識する
 きっかけとなりました。

好きなオペラ作品は
 「蝶々夫人」です！

江まから
 家に帰ったことも
 ありました。
 家に帰ったら
 夕陽の光

次の公演で
譜読めしな
きゃ

オーケストラでは、人とのコミュニケーションも重要。✔

ドイツ人に囲まれて引っ込み思案になってしまふこともありましたが、
壁を打破り、ちょっとした雑談から少しずつ交流を広げ、色々な人に
自分のことを知ってもらおうと努力しました。

コミュニケーションを通して
自分を出ることが大事で、
自分の意見を持つことが
1年間で学んだぞう。

妻もあり、オーケストラと打ち解け
1年間の試み期間も無事にクリア。
は団員として4年目を迎えます。
2ヴァイオリン1番首席奏者に
なりました。

1年間の4年でした。ようやく少しう
きだした気がします。



ドイツでの音楽活動を通して、より強く感じたことのひとつは、テクニックがあるのは前提として「いかに音楽的に演奏するか」が非常に大切だということだ。以前、山本先生から『イ』作品に書かれたことを奏者は演じなきゃいけないだよ。』と言葉をいただいて、演劇と同じで、作曲家がどんな思いで「作品を書いたのか」に寄り添い「なりきって」演奏しないと表面的な演奏になってしまう、とハッとしたのを覚えている。お客さまがどう感じていただくかはもちろん自由なのであが、私はこの作品をこう読み解いたというビジョンを持って、自分の音に委せて届けたい。説得力のある演奏を常に心がけていた。

インタビュー：2025年8月某日

祐奈さんの言葉からは、音楽への深い敬意と、
「愛」が溢れていることがよく感じられる。そして、
「愛」が溢れていることがよく感じられる。